

高感度金属検出機能を生かした 新たな応用例

食品市場において、賞味期限が重要なファクターになっています。
脱酸素剤(鉄系)は生産者に長く愛用されていますが、鉄成分が大きく、
金属検出機を通す際の大きな障害になっています。
現状は脱酸素剤が入っているか否かの検査を金属検出機で行い、
同時に金属異物の検出をするのは不可能な状態にあります。
そこで、エー・アンド・デイが開発した高感度金属検出機の
新たな可能性をご提案いたします。



金属検出機(脱酸素剤仕様)
AD-4971E



シリーズ

AD-4971E 脱酸素剤仕様

脱酸素剤の有無の検査と金属異物検出の同時検査が可能

- 〈ご注意〉 ● 袋の中の脱酸素剤の位置により影響を受けます。
(脱酸素剤の固定により感度が上がります)
● 脱酸素剤が入っている状態で、温度変化がある場合は影響を受けます。
(温度は一定に保つことをお勧めします)

脱酸素剤入りの製品検査に必要な検出感度

■鉄・ステンレス ■φ2mm(0.033g)

※脱酸素剤の重量=1g以下

モデル	AD-4971E-3510	AD-4971E-3517	AD-4971E-3525	AD-4971E-4517	AD-4971E-4525
センサーヘッド開口部寸法	幅350×高さ100(通過高さ80)	幅350×高さ170(通過高さ150)	幅350×高さ250(通過高さ230)	幅450×高さ170(通過高さ150)	幅450×高さ250(通過高さ230)
検出感度	Fe:φ0.3、SUS:φ0.8	Fe:φ0.5、SUS:φ1.0	Fe:φ0.7、SUS:φ1.5	Fe:φ0.5、SUS:φ1.0	Fe:φ0.7、SUS:φ1.5

※上記感度は脱酸素剤が入っていない商品での最高感度です。環境や商品により変化します。

単位mm

商品により、検出感度が異なります。事前にサンプルテストを行いますので、営業担当者までお問い合わせください。

脱酸素剤封入検体例

冷蔵食品(ピザ)

冷蔵食品(チキンナゲット)

お菓子 etc.

脱酸素剤例



注)実際の金属異物はテストピースでは表現できません。
実際の異物の重量を、電子天びんで計測することをお勧めします。
エー・アンド・デイでは、様々な天びん、はかりもご用意しておりますので、
詳しくはお問い合わせください。

<http://www.aandd.co.jp>

AND 株式会社 エー・アンド・デイ

本社:〒170-0013 東京都豊島区東池袋3丁目23番14号
TEL:03-5391-6128(直) FAX:03-5391-6129

■札幌出張所 TEL:011-251-2753(代) FAX:011-251-2759
■仙台営業所 TEL:022-211-8051(代) FAX:022-211-8052
■宇都宮営業所 TEL:028-610-0377(代) FAX:028-633-2166
■東京北営業所 TEL:048-592-3111(代) FAX:048-592-3117
■東京南営業所 TEL:045-476-5231(代) FAX:045-476-5232

■静岡営業所 TEL:054-286-2880(代) FAX:054-286-2955
■名古屋営業所 TEL:052-726-8760(代) FAX:052-726-8769
■大阪営業所 TEL:06-7668-3900(代) FAX:06-7668-3901
■広島営業所 TEL:082-233-0611(代) FAX:082-233-7058
■福岡営業所 TEL:092-441-6715(代) FAX:092-411-2815

*AD4971-E-ADJT-08-CR7-18a05GP